

月例報告書（4月分）

留学先大学：ラトガース大学

氏名：アルマゾフ ゲルディミラット

2022年5月5日

ついに5月になり、日本に帰るまでの時間がわずかしがなく、残念です。なぜならば、ラトガース大学への交換留学を通して、数えきれないほど多くのことを感じることができ、色々な人と話し合い、意見交換したお陰で周りだけではなく、自分がよりよくわかるようになりました。個人主義でもあり実力主義でもあるアメリカに住んでみて、自分はどのような人になりたいのか改めて自分に問い詰めました。その結果は、やはり社会に貢献できる人や周りに良い影響を与えることのできる人になりたいのですが…この多様性と価値観、社会システムや人の動き、若者がたてるゴールを観察し、自分の価値観を考え直し、前述に加えて自分に対して正直である人になりたいとなりました。私のアメリカの人々の憧れポイントは、やはり本当の自分を裏切らない、周りを敬いながらもそれに左右されず自分の道を貫くところです。自分らしく生きるところです。私もこの月例報告書を書く前に一度アメリカでの滞在を振り返ってみたところ、このような人になりたいと思いました。

さて、大学の授業は5月上旬までであり、上旬から中旬にかけてテスト期間になっています。授業により、すでに全ての課題やエッセイ等を終わらせていて、テスト期間に何も無い授業があり、必ずしも授業がテストや試験で終わるとは限りません。私の場合は、プロジェクト一つ、エッセイ一つ、ケース分析のようなもの一つとテストが一つずつありますが、現時点での残りはテストだけです。周りの人が一生懸命図書館で勉強していますが、私は比較的楽です！その分、私がしたプロジェクトが実際のニュージャージーにある企業の問題分析と解決法の提案であり、かなり難しかったです。難しかったにもかかわらず、日本と全く違うアメリカで企業と連絡をとりながら課題解決に取り組むことがとても大事な経験になりました。発表後、先生と企業の代表に褒められ、とても嬉しかったです。報われたと思いました。（実は私がとってる授業の全員の先生に褒められました！笑 謙遜はしたくありません）

もうすぐ日本に帰らないといけないこと、信じられません。非常に楽しく、非常に大事な経験になったアメリカでの滞在が楽しかったからこそ、役立ったからこそ、あ

っという間に終わりました。留学中の留学している私でも、学ぶことが山ほどあります。ここでぜひ皆に留学をお勧めしたいと思います。



